

# かぜ 海風

社会医療法人  
社会福祉法人

松涛会広報誌

No.79 秋号  
令和6年



## 松涛会理念

医療・介護・福祉の連携により、  
地域社会に貢献いたします。  
～あなたの喜びが、私の生きがいです～



フロイデ金比羅グループホーム  
小松 亜紀子 作

フロイデ金比羅では応援グッズ  
を手に道下選手の2連覇を願い、み  
んなで精いっぱい応援しました。

頑張った道下選手へのお祝いに、  
国道に面したフェンスには横断幕を  
掲げさせていただきました。

フロイデ金比羅 事務長  
伊田 和子

## 目次

- ・高齢者の栄養評価について研修会
- ・認定栄養ケア・ステーションやすおかが  
スタートしました
- ・理事長インタビュー掲載
- ・臨地実習
- ・コスモス通所リハビリテーションの  
体験利用や見学をしてみませんか？
- ・下関市立中央こども園に訪問して
- ・医療者向け緩和ケア研修会開催
- ・慢性腎臓病 (CKD)
- ・第4回はつらつ健康教室の開催
- ・地域から必要とされる事業所を目指して
- ・ホスピス緩和ケア週間講演会
- ・緩和ケア週間アンケート集計結果
- ・特殊疾患病棟の紹介
- ・交通安全運転研修
- ・接遇研修を開催して

## 高齢者の栄養評価について研修会

安岡病院 副院長兼看護部長 古本 たつ子



8月19日(月)に栄養サポートに長年携わってこられた、下関医療センターの前院長、山下智省先生をお招きして、講演会を開催致しました。

高齢者は病気や老化、身体機能の衰えから「食べること」が徐々に難しくなってきます。まずは高齢者の予備能力や老年症候群等を考え併せて、その方のステージを把握すること、食べられない原因を追究することが大事。その上で、長期的視点と「本人の最善」を目指し、栄養方法を選択・評価のプロセスを何度も辿り直すということでした。単に栄養選択ではなく、残りの人生をどのように生きることが望ましいのかという観点、ACPを改めて考える機会となりました。



## 認定栄養ケア・ステーションやすおか がスタートしました

安岡病院 栄養ケア・マネジメント室 林 辰美

9月1日、安岡病院内に「社会医療法人松涛会 安岡病院 認定栄養ケア・ステーションやすおか」を開設しました。この認定制度は、2018年に内閣府が公益社団法人日本栄養士会を認定機関として承認し、スタートしています。

地域の皆様方が、住み慣れた地域で健やかな生活を継続するために、管理栄養士・栄養士による食事や栄養の相談、支援を受けることができる地域密着型の拠点です。

全国的に病院が認定を受けるケースは少なく、山口県内病院では、第一号となる認定ケア・ステーションです。

場所は、安岡病院入院棟入口1階にあります。皆様の食事や栄養のご相談等、お気軽に下記にお問い合わせください。

**営業日** 随時(予約にて対応します。)  
**営業時間** 10時～16時(土・日・祝日を除く。)  
**電話** 080-2933-9459  
**e-mail** ncsyasuoka@syoutoukai.or.jp

### 社会医療法人 松涛会 安岡病院 認定栄養ケア・ステーションやすおか

代表 理事長 斎藤妙子

認定機関 公益社団法人 日本栄養士会 第24135001号

皆様の食事や栄養のご相談を地域で活動している管理栄養士・栄養士が、より一層、健やかな毎日を過ごされるようお手伝いをいたします。

#### 認定栄養ケア・ステーション (Care Station: CS)

認定栄養ケア・ステーションやすおかは、住み慣れた地域で生活されている皆さまに、食事・栄養支援を行う適格性を山口県栄養士会が確認し、公益社団法人日本栄養士会から地域の栄養支援を行う拠点としての審査を受け、認定された機関です。

認定栄養CSやすおかは、安岡病院の入院棟入口1階に開設しています。電話またはメールでご予約いただけますと幸いです。在室の場合は、いつでもご対応いたします。皆様の食事や栄養のご相談をお受けいたします。お気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

#### 認定栄養CSの事業の紹介

- ★ 地域にお住まいの方、勤務されている方の栄養支援事業
  - 食事と栄養の相談、健康・栄養情報、献立の提供
  - 市・町、事業所の特定保健指導及びその後のフォロー
  - 低栄養、フレイル予防の栄養・料理講習会、研修会講師
- ★ 乳幼児・学齢期・青年期の食育支援事業
  - 離乳食、幼児食及び子どもの食事と栄養相談
  - キッズクッキング、親子料理教室、栄養講話
  - 思春期の貧血予防、スポーツ栄養
- ★ 健康づくり、食環境づくり支援事業
  - 人生100年をめざしたメタボ対策とプレフレイル(前虚弱)・フレイル対策の実践活動
  - 小売店、コンビニ及びスーパーの販売弁当や販売商品の栄養成分表示による食環境整備の支援



## 理事長インタビュー掲載

株式会社日本医療企画様の「最新医療経営 Vol.481」に“病院トップの経営者魂”として掲載されました。



## 臨地実習

各学校から臨地実習で安岡病院やはまゆう苑等の介護事業所に来られました。



早稲高等学校



東亜大学附属下関看護専門学校 下関看護リハビリテーション学校

## コスモス通所リハビリテーションの体験利用や見学をしてみませんか？

老人保健施設コスモス 看護・介護科長 中嶋 裕美

コスモス通所リハビリテーションでは、ご利用者が地域の中でいつまでも自分らしく生活を継続していただけるよう、医師の指示のもと医療・介護を提供しています。リハビリを中心とし、体操や脳トレ体操、マシントレーニング、入浴、食事等を多職種協働で支援しています。季節の歌や体操、食事などご利用者様皆さんが一緒に行う楽しさがモチベーションの維持に繋がります。また、随時体験利用も行っていますので、お気軽にご相談ください。今後も笑顔でご利用いただけるよう邁進してまいります。



## 下関市立中央こども園に訪問して

フロイデ金比羅 地域密着委員 小松 亜紀子

9月11日(水)中央こども園に利用者様10名と訪問しました。

年長さん41名と昔話の歌に合わせて体操したり、年齢当てクイズやじゃんけんゲームをしました。利用者様は終始笑顔で、昔を思い出されて、涙される場面もあり、1時間弱でしたが、とても楽しい時間を過ごしていただく事ができました。



園児から手作りペンダント



## 医療者向け緩和ケア研修会開催

安岡病院 西4病棟 師長 井上 恵美

8月24(木)に緩和ケアの啓発活動を目的に、医療者向けの研修会を開催し、70名の参加がありました。緩和ケア病棟入院患者の在宅への移行について、病院の医師・看護師、在宅診療の医師、訪問看護の看護師の視点での講演を行いました。当院は訪問診療を開始し、終末期の患者さんが在宅退院しやすい環境になりました。地域全体で患者さん・ご家族を支えていけるように、他の医療関係者の方と連携を深めていきたいと思っております。



訪問診療  
医師 田野原 紀代子



## 慢性腎臓病 (CKD)

山の田内科 院長 村田 篤彦



腎臓は血圧や体液の調整、血液を作るホルモンの分泌、骨の強化などの役割もあり、全身の多くの機能に関わっています。この腎臓の働きが低下することを「慢性腎臓病」と呼び、日本人の20歳以上の8人に1人いると考えられており、腎臓の機能の低下が進むにつれ疲労感や息切れ、体のむくみなどがひどくなっていきます。

腎臓の機能の指標としてはeGFR(糸球体濾過量)が有名で、60を下回ると、慢性腎臓病と診断されますが、一般的にはeGFR 5~10程度まで落ちてしまうと透析や移植が必要な状態になります。対処としては塩分を控える、タンパク質の摂りすぎに注意する、血圧に注意するなどが重要です。大事な臓器である腎臓を長持ちさせるために日ごろから腎臓に負担をかけない生活を心掛けたいものです。

## 第4回はつらつ健康教室の開催

山の田内科 看護師長 水野 佳代子

今回は7月24日(水)に地域の皆様へ「はつらつ健康教室」を開催しました。猛暑の中18人参加。「熱中症」についての講話と、「暑さに負けない体力づくり」の有酸素運動をおこないました。「まだまだ暑くなるから参考になった」「水だけ飲んで駄目ね」と感想を頂きました。



## 地域から必要とされる事業所を目指して

小規模多機能ケアタウン山の田 事業所長 西村 裕太

小規模多機能ケアタウン山の田では、小規模多機能にしかできない事を職員全体で考えながらサービスを提供しています。外部のサービスでは対応しきれない、「かゆいところまで手が届く」を意識して、今後もよりよいサービスを提供していきます。



# ホスピス緩和ケア週間講演会

安岡病院 西4病棟 師長 井上 恵美

10月12日にホスピス緩和ケア週間に合わせて、一般の市民を対象に研修会を行い130名の参加がありました。

今回の講演会は、ACP(人生会議)とは何か、緩和ケア病棟でのACPの取り組み、人生会議の動画の視聴と緩和ケア病棟の紹介をスライドショーで行いました。講演後、参加者された方より「さっそく自宅に帰って家族と人生会議をします」と言うお言葉をいただきました。

また、緩和ケア病棟の見学会も開催し、60名の参加がありました。緩和ケア病棟は、患者さん・ご家族の思いに寄り添って、その人らしく生きることを支えていく病棟でありたいと考えています。今後も、より多くの方に緩和ケア病棟を知っていただけるよう、緩和ケアに関わる多職種やボランティアの方々と一緒に啓発活動を行っていきたいと思います。

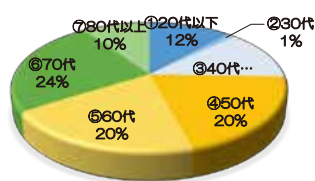


## 緩和ケア週間アンケート集計結果 (94枚回収)

緩和ケア週間講演会:2024.10.12開催

### 1.年齢

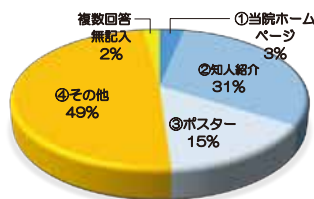
①20代以下	11
②30代	1
③40代	12
④50代	19
⑤60代	19
⑥70代	23
⑦80代以上	9



### 2.講演会を何で知りましたか？

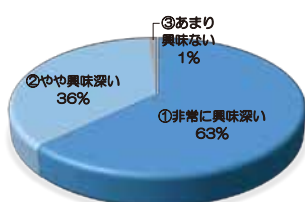
①当院ホームページ	3
②知人紹介	29
③ポスター	14
④その他	46
複数回答・無記入	2

※複数回答(1名)内訳  
②&④・・・1名



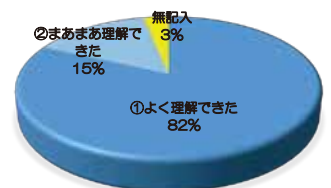
### 3.テーマは興味のあるものでしたか？

①非常に興味深い	59
②やや興味深い	34
③あまり興味ない	1
④興味ない	
無記入	



### 4.講演会の内容はわかりやすかったですか？

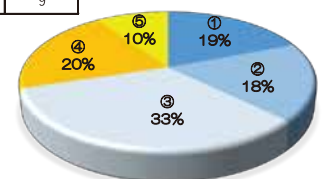
①よく理解できた	77
②まあまあ理解できた	14
③あまり理解できなかった	
④理解できなかった	
無記入	3



### 5.特に印象に残ったものを一つ選び下さい。

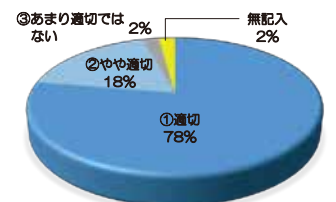
① ACPって言葉、ご存知ですか	18
② 「人生会議」短編ドラマ	17
③ あなたの想いをきかせてください	31
④ 緩和ケアスライドショー	19
⑤ 複数回答・無記入	9

※複数回答(4名)内訳  
全項目・・・1名  
②・・・2名  
③④・・・1名



### 6.講演会の時間は適切でしたか？

①適切	73
②やや適切	17
③あまり適切ではない	2
④適切ではない	
無記入	2



## 特殊疾患病棟の紹介

患者支援センター 相談員 清川 唯

特殊疾患病棟(東2病棟)は、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症(ALS)など、難病を持つ患者さんが入院しています。

ご希望に沿って、自宅療養や施設入所、外泊・外出支援を行っています。

また、自宅での療養生活中の患者さんについてもレスパイト入院が可能です。

何かお困りごとがあれば、一度ご相談ください。



意思伝達装置を使用中の患者さん

## 交通安全運転研修

衛生委員会 河野 文弥

8月6日(火)に下関警察署交通課の美好星吾 巡査部長を講師にお招きして、研修会を開催致しました。実際の事件事例などを踏まえた講義で、新しい知識の習得や安全運転の基本について見直すことが出来ました。一層気を引き締めて、安全運転を心掛けていきたいと思えます。



酔っぱらい体験ゴーグル着用中

## 接遇研修を開催して

顧客満足度向上・接遇委員会 木村 圭吾

8月20日～23日に接遇研修ランチョンセミナーを開催しました。E-ラーニング動画を視聴し、言葉使い、マスク着時の感情表現、身だしなみ等を学習してもらいました。今後も接遇向上につながる研修等を実施していきます。



## 看護師・介護士・保育士・調理員募集

(介護士・調理員は資格のない方もOKです。)

問い合わせ先

お気軽にご相談下さい。

●社会医療法人松涛会安岡病院 担当 / 人事係

☎083-258-3711

●社会福祉法人松涛会 はまゆう苑 担当 / 法人事務局

☎083-258-3800